



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2024年4月号（619号）》

目 次

報 告

・定例司教総会	1
・常任司教委員会	3
・典礼委員会	4
・学校教育委員会	5
・難民移住移動者委員会	5
・カリタスジャパン	7
・正義と平和協議会	8
・「ラウダート・シ」デスク	9
・カトリック中央協議会事務局（総務）	9
公文書	10

定例司教総会

■2024年度定例司教総会

日 時 2024年2月13日（火）14：00－15日（木）16：00

場 所 日本カトリック会館 マレラホール

出席者 会 員 17人

オブザーバー

3人

司教総会事務担当スタッフ

7人

報 告

1. 能登半島地震に関する被災状況と支援について
2024年1月1日に石川県能登地方を襲った地震被災者のための多くの祈りと援助への感謝とともに、被災地域の教会の被害状況を名古屋教区の松浦悟郎司教が報告した。また、カリタスジャパンの成井大介司教からは、発災からの対応の経緯とともに、現時点での被災地の支援と復興状況についての報告が行われた。
2. 「ミサ義務（およびミサ奉納金）の削減（逓減）」（Can. 1308）について
2023年12月の臨時司教総会で、教会行政法制委員会から提出した、教皇フランシスコ自発教令の形式による使徒的書簡『コンペテンチアス・クアスダム・デチェルネレ』（Competentias Quasdam Decernere）および、改訂された『カトリック新教会法典』の該当条文の邦訳の審議の際、質問のあった、新教会法典第1308条の「ミサ義務（及びミサ奉納金）の削減」に関する解説を行った。
3. カトリック学校教育実態調査について
学校現場における司祭、修道者、信徒教員が減少する中でも様々な工夫によって建学の精神を継承している学校が多い中、カトリック学校としての存続が危ぶまれる学校も少なくないため、現在のカトリック学校の実態を調査、分析するために、2023年6月に「カトリック学校教育実態調査」を実施したことおよびその中間報告が行われた。
4. 世界代表司教会議（シノドス）第16回通常総会（第2会期）について
第16回シノドス第2会期に向けての取り組みを検討する「シノドス特別チーム」から、以下の提案が2024年1月常任司教委員会に提出された。
 - ①シノドスハンドブックの作成と配布
 - ②各教区レベルでの「シノドス」の開催と、そのための支援
 - ③日本の教会レベルでの「シノドス」の開催同常任司教委員会において上記①－③を承認し、日本の教会レベルでのシノドスの開催を以下のとおり行うことを決定した。

日 時：2024年3月7日（木）15時－8日（金）15時
場 所：日本カトリック会館
参加者：司教協議会会員司教、各教区から司祭・修道者・信徒（各1人）
5. 典礼における聖人の新しい固有名詞表記について
今まで文語で行われていた「諸聖人の連願」の口語版が2023年7月の第1回臨時司教総会で承認されたことを受け、典礼委員会では、聖人の新しい固有名詞表記を2025年度の待降節第1主日（2024年12月1日）から採用すること、実施にあたっては、聖人の新しい固有名詞表記のリストを典礼委員会が作成し、カトリック中央協議会のウェブサイトで公表することが報告された。
6. 「司祭生涯養成プログラムB」について
司祭生涯養成部門で計画している2025年1月開催予定の「司祭生涯養成プログラムB」のフィリピンでの研修の準備状況が報告された。
7. 2025年聖年準備について
現時点で教皇庁から通知されている2025年の聖年に関する情報（祈り、ロゴマーク、教皇庁での行事予定）が報告された。邦文が確定した段階で、順次カトリック中央協議会のウェブサイトに掲載し、準備を進める。
8. カトリック中央協議会会計年度の変更について
2024年1月常任司教委員会において、カトリック中央協議会・財務部からの提案である宗教法人カトリック中央協議会の会計年度の変更について検討を行い、現行1月－12月の会計年度で対応してきた体制を2025年から4月－3月に変更することを承認したことが報告された。

審 議

1. 「ともに生きるために—総合的エコロジーへの取り組み—」について
本司教総会での諸意見を加味して修正した、「ともに生きるために—総合的エコロジーへの取り組み（仮

題)」の書籍タイトルを『見よ、それはきわめてよかった—総合的な(インテグラル)エコロジーへの招き』に変更し、司教団文書とすることを承認した

2. カトリック中央協議会の会計年度変更にもなう司教総会開催時期の変更について
カトリック中央協議会の会計年度の変更にもない、司教総会の時期を2025年より現行の2月、7月、12月から6月、2月に変更し、6月を定例司教総会、2月を臨時司教総会とすることを承認した。
3. アンドレア・レンボ司教の司教協議会での役職について
 - ①アンドレア・レンボ司教の司教協議会での役職として、2024年2月14日付で司祭生涯養成部門担当司教を任命した。
 - ②上記の決定を受けて、2024年2月14日付で菊地 功大司教の司祭生涯養成部門担当司教の任を解くことが承認された。
4. カトリック新聞の今後について
2025年3月をもって、カトリック新聞の週1回、有料紙として発行するという現在の発行形態を終了することを承認した。
5. 2023年度(宗)カトリック中央協議会収支決算書案承認について
2023年度(宗)カトリック中央協議会収支決算書(案)を2023年度(宗)カトリック中央協議会収支決算書として承認した。
6. 「司祭生涯養成プログラムB」の参加者に関する件
2020年度定例司教総会において、司祭生涯養成部門から「日本の教会における司祭の生涯養成プログラム」の提案を行い、プログラムB(海外研修)の対象者については、叙階年数15-20年の司祭ということで承認を受けた。しかし、叙階年齢の高齢化など諸般の事情により、各教区で該当年数の司祭を派遣できない状況に鑑み、2025年1月に開催予定のプログラムBの参加者については、該当叙階年数もしくはその年数に相当する50歳代の司祭(1人-3人)を各教区から選出してもらい、対応することが承認された。

常任司教委員会

■3月定例常任司教委員会

日 時 2024年3月7日(木) 10:00-11:15
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 委 員 7人
事務局 8人

報 告

1. 菊地 功大司教のアジア司教協議会連盟(FABC)事務局長継続について
2024年2月22日のFABC中央委員会で、菊地 功大司教がFABC事務局長の第2期目(2025年1月1日-2027年12月31日)を継続することが承認された。
2. 『十字架の道行』重版について
在庫僅少にもない『十字架の道行』(小冊子)の一部修正を確認し、重版準備を進めることが報告された。

審 議

1. 第1回「世界こどもの日」について
2023年12月8日の無原罪の聖母の祝日に行われた「お告げの祈り」の際に、教皇フランシスコが発表した、「世界こどもの日」については、「日本の教会の祈願日」とする方向で準備を行い、7月の司教総会に諮る。なお、同祈願日は5月であるため、2024年度は現在届いているメッセージを邦訳し、周知する。

2. 2025年聖年準備について

2024年2月の司教総会で懸案事項となった2025年の聖年のロゴマークの日本語表記を確定した。聖年の祈りとともにカトリック中央協議会ウェブサイトに掲載する。

3. 「再審法改正への賛同書」と「各団体に対しての要望書」の取り扱いについて

2024年度定例司教総会中の「司教の集い」の講師である鴨志田祐美弁護士から届いた「再審法改正への賛同書」と「各団体に対しての要望書」については、取り扱い方法や締め切り日、提出機関などについて確認したうえで、各教区に署名依頼を行う。

4. 2024年7月の司教総会での「司教の集い」について

2024年7月の司教総会で「司教の集い」を開催する方向で準備を行う。内容は2025年が戦後80年の節目にあたるので、その準備としての集いとする。

5. 2024年度管理職人事について

2024年4月1日からのカトリック中央協議会管理職人事として、事務局長が策定した以下の提案を承認した。

川口 薫：事務局長 兼 司教協議会事務部長 兼 財務部長 兼 法人事務部長(新聞事業部長の任を解く)

原田豊己：事務局次長 兼 社会福音化推進部長(2023年と変更なし)

尾高修一：出版部長 兼 新聞事業部長(法人事務部長の任を解く)

典礼委員会

■定例会議

日 時 2024年3月18日(月) 13:30-17:00

場 所 カトリック広島司教館(広島・広島市)〈ハイブリッド会議〉

出席者 8人

欠席者 3人

報 告

1. 『新しい「ミサの式次第」と「ミサの賛歌」の旋律(一般用)』発行

掲記冊子が『典礼聖歌』の補遺として発行された。新しい「ミサの式次第」および「ミサの賛歌」(ミサ曲)のABCの3種類の旋律が収録されている。定価は300円。

審 議

1. カトリック儀式書『ミサ以外のときの聖体拝領と聖体礼拝』第1章について

前回会合に引き続き、週日に行われる「ミサ以外のときの聖体拝領」のために、掲記儀式書の修正箇所について確認を行った。今会合での意見と合意事項をもとに修正し、司教総会への提案に向けて準備を進める。

2. 2024年度全国典礼担当者会議について

掲記会議は本年9月9日-11日に札幌教区センターで開催が予定されている。今会合ではそのテーマについて検討し、『『典礼による養成』について——使徒的書簡『わたしはせつに願っていた』を受けて』と確定した。また、教区典礼担当への案内、プログラムの検討も行い、内容を整え、送付準備を進める。

次回日程

2024年5月20日(月) 13:30-17:00

イエスのカリタス修道女会 亀川修道院(大分・別府市)

学校教育委員会

■第 190 回学校教育委員会

日 時 2024 年 2 月 12 日 (月・祝) 17:00-19:00
場 所 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院 (東京・千代田区)
出席者 12 人
欠席者 2 人

審 議

1. 第 36 回「校長・理事長・総長管区長・司教の集い(集い)」について
2024 年 4 月 29 日 (月・祝) - 30 日 (火)、都市センターホテル (東京・千代田区) で開催する「集い」について、講師を依頼した山内保憲師 (イエズス会) を招聘し、講演内容やプログラムについて意見交換を行った。

難民移住移動者委員会

■2024 年度第 1 回事務局会議

日 時 2024 年 2 月 2 日 (金) 14:00-16:00
場 所 ウェブ会議
出席者 7 人

報 告

1. 船員司牧部会 (ステラマリス日本) 報告
2. 2024 年度決算報告について
3. 外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会 (外キ協) 関連報告
 - ・ 1 月 25 日 (木) - 26 日 (金)、広島にて全国協議会、全国集会が開催された。今年は例年の活動に加え、5 月 13 日 (月) - 15 日 (水) に日・韓・在日教会シンポジウムが韓国、大田で開催される。6 月の移住者と連帯する全国ネットワークの大阪ワークショップ前日の 6 月 7 日 (金) 夜に、キリスト者フォーラムを開催する。
 - ・ 難民・移民のなかまのいのちの緊急基金では、第 2 期支援に向けて呼びかけを継続している。

審 議

1. 援助金申請が 1 件あり、強制帰国させられそうになって労働組合に保護された技能実習生のシェルター生活費等の支援を決定した。
2. なんみんフォーラム (FRJ) 正会員団体年会費について、毎年の会費を 3 口 6 万円とすることを決定した。
3. アドボカシー啓発プロジェクト報告として、改定入管法施行に向けたアンケート結果と支援者会議で挙げられた課題、不安の声について報告があった。対応について、定例委員会で検討することになった。
4. 2 月 29 日 - 3 月 1 日、ベトナム人司牧者のつどい (大阪) 参加者への、委員会からの交通費支援、補助について確認した。

■2024 年度第 1 回定例委員会

日 時 2024 年 2 月 8 日 (木) 11:00-16:00
場 所 日本カトリック会館 マレラホール (ハイブリッド)

出席者 15人

講演

「改訂入管法施行に向けてのカトリック関係者アンケート結果の共有、および入管収容・仮放免者支援会議報告と今後に向けて」 山岸素子委員

報告

1. 人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）報告
2. 船員司牧部門（ステラマリス日本）報告
3. ベトナム人司牧関連報告
4. 社会司教委員会主催 2024 年度「出前研修」について
5. 2023 年度決算報告について
6. 外キ協関連報告
7. 各地からの報告

審議

1. 入管法改定（改悪法の施行、技能実習・特定技能）に向けての教会の取り組みについて 意見交換が行われ、今後、新たなネットワークを設ける方向で対応を進めることになった。
2. 言語別司牧への関わりの方向性について討議が行われた。今後の方向性について、定例委員会で審議を継続する。
3. 緊急援助金について意見交換が行われ、仮放免の子どもに対する教育支援について話し合われた。

■第2回船員司牧（ステラマリス日本）コア会議

日時 2024年2月9日（金）13:00-15:00

場所 ウェブ会議

出席者 8人

報告

1. 各港・各教区からの報告

審議

1. 「日本における船員司牧の手引き」改訂を検討してきたが、訪船するスタッフが手順などを参照するマニュアルとして、20年前の手引きの内容から現在は変化していることのほか、各港の具体的な実践から、重要なことをシンプルにまとめたパンフレットとする方向で、全国会議に向けて継続して準備していくことになった。
2. 全国会議プログラムとスケジュールについて検討した。

■ベトナム人司牧者のつどい

日時 2024年2月29日（木）-3月1日（金）

場所 ウェブ会議

出席者 62人

プログラム

2月29日（木）

開会のことば（山野内倫昭司教）

前田万葉枢機卿の挨拶
ベトナム司教協議会レ・タン・ロイ司教の挨拶
在日ベトナム人カトリック共同体の歴史（グエン・フー・ヒエン師）
移住民に関する日本教会とベトナム教会との協力の流れ（ダオ・グエン・ヴ師）
ホットライン相談対応からの分かち合い
懇親会

3月1日（金）

各教区からの報告と質疑
在日ベトナム人カトリック青年会の現状（グエン・タン・ニャー師）
グループ討議とまとめ
ミサ

ベトナム司教協議会から招いたロイ司教とヴ師を交え、60人の参加者が対面で講演と報告に耳を傾け、意見交換を行い、今後の方向性を考えた。

カリタスジャパン

■2024年度第1回カリタスジャパン委員会

日 時 2024年2月28日（水）10：00－15：00
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 11人
欠席者 1人

報 告

1. 事務局報告

- 1) 支援者対応、四旬節小冊子発送、年次報告作成、TOGETHER WE キャンペーンにおける教区での活動、災害支援備品準備についての活動を報告した。
- 2) 募金状況については以下の通り報告した。

ウクライナ関連	2022年 3月からの募金額 239,363千円
トルコ地震	2023年 2月からの募金額 98,968千円
ガザ人道支援	2023年 11月からの募金額 24,177千円
能登地震	2024年 1月からの募金額 39,102千円

- 3) 事務局人事について報告した。

2. 部会報告

啓発部会（1月24日）、援助部会（1月19日）の内容について報告した。

3. 2023年度決算報告

審 議

1. 2024年度年間スケジュールについて

2024年度事務局体制に伴い、変更を必要とする場合はカリタスジャパン委員会に申し出る旨、確認した。

2. 2025年に向けた組織改革について

今後の組織改編に向けて、たたき台をもとに意見交換をした。

正義と平和協議会

■事務局会議

日時 2024年2月6日(火) 13:30-15:30

場所 ウェブ会議

出席者 5人

報告

1. 部会報告

改憲対策部会

自衛隊員の靖国神社参拝に抗議する声明文の文案作成を行っている。

平和のための脱核部会

3月11日に発表予定の脱原子力発電声明文の文案作成を行っている。

2. 事業の進捗状況の報告

審議

1. 全国会議について

・日程 2024年3月22日-23日

・場所 カトリック会館(ハイブリッド)

・テーマ 「大軍拡に反対する～真の平和は相互の信頼の上には構築できない」

3月22日 公開講演会(オンライン)

講師 木元茂夫さん(ピースデポ理事、すべての基地にNOを!・ファイト神奈川)

3月23日 全体会議

会議の進行について検討した。

■第8回9条世界宗教者会議

日時 2024年2月20日(火)-2月22日(木)

場所 カトリック安里教会(那覇教区)

出席者 約90人(仏教者、キリスト者、他宗教者)

カトリックからの参加は正義と平和協議会関係者9人(うち韓国より1人、アメリカより1人)

テーマ 「憲法9条と東アジアの平和-沖縄からの祈り-

世界的に軍拡が加速化する今日、「日本国憲法9条」の恒久的・普遍的意義を確認し、その重要性を世界に発信することを目的に2007年の発足(当初は「9条アジア宗教者会議」の名称だった)以来開催してきた。今回は、沖縄の「台湾有事」を理由に軍事化が進む現在の状況と、常に犠牲を強いられてきた過去について学び、いかなる戦争も否定する非暴力抵抗の意味と実践の可能性について討議を行なった。

対面で開催する現行の会議形式は今回で一旦終了とし、今後は、オンラインを利用して連携していくネットワークを立ち上げることを決議した。

2月20日 現地学習(辺野古、嘉手納基地、チビチリガマ、恨之碑)

基調講演 岡本厚さん(元岩波書店『世界』編集長)

- 2月21日 全体会議
2月22日 全体会議、那覇市内平和行進

「ラウダート・シ」デスク

■2024年度第2回会議

日時 2024年2月26日(月) 15:30-18:30
場所 イエズス会 SJハウス(東京・千代田区)〈ハイブリッド〉
出席者 9人

審議

- 司教団文書『見よ、それはきわめてよかった』
2024年度定例司教総会で承認された掲記文書に掲載する用語集の内容と、別途ウェブサイトに掲載する項目について検討を行った。次回も継続して審議する。
- デスク責任司教メッセージ
過去、5月の「ラウダート・シ週間」と、「すべてのいのちを守るための月間」(9月1日-10月4日)それぞれに司教の談話を用意していたが、本年より、後者に向けたメッセージに一本化することを決定した。
- 2024年「すべてのいのちを守るための月間」の企画
夏ごろ発刊予定の『見よ、それはきわめてよかった——総合的な(インテグラル)エコロジーへの招き』のプロモーションを軸に、詳細は次回以降検討を行う。

次回日程

2024年4月1日(月) 15:30-18:30 イエズス会 SJハウス(東京・千代田区)

カトリック中央協議会事務局

■総務

4月会議予定

1日(月)	「ラウダート・シ」デスク会議	イエズス会 SJハウス四谷
3日(水)	タリタクム日本運営委員会	ウェブ会議
4日(木)	カルト問題キリスト教連絡会	日本カトリック会館
5日(金)	カリタスジャパン委員会	〃
17日(水)	第44回「同宗連」総会	立正佼成会大阪普門館
18日(木)-19日(金)	災害時の緊急対応支援チーム(ERST)定例会議	ウェブ会議
24日(水)-25日(木)	第一四半期会計士監査	日本カトリック会館
26日(金)	社会司教委員会司教の集い	〃
26日(金)	カリタスジャパン援助審査会	ウェブ会議
26日(金)	子どもと女性の権利擁護のためのデスク事務局会議	日本カトリック会館
29日(月)-30日(火)	第36回「校長・理事長・総長管区長・司教の集い」	都市センターホテル

〈会報 2024 年 4 月号 公文書〉

2024 年「第 61 回世界召命祈願の日」教皇メッセージ

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2024/04/02/29404/>)



「福島原発事故を忘れない 能登半島地震の現状を直視し、
原子力発電の撤廃を直ちに実現しましょう」
(日本カトリック正義と平和協議会)

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2024/03/11/29209/>)



新刊書籍案内

※ 識別——教皇講話集

教皇フランシスコ



カトリック中央協議会 「会報」 2024年4月号 (通巻619号)

発行日 2024年4月10日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <https://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457